

未来を開く

長井市立長井北中学校

No38 令和3年9月8日

学習の成果と課題

3年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」。その結果をふまえ、今後の取り組みを検証する。＝第1弾＝



今年度の5月27日(木)、中学校の3年生を対象に、「全国学力・学習状況調査」が国語と数学2教科について行われました。

全国や県の結果については、すでに新聞やテレビで報道されて

いますが、各学校に対しても結果が送付されました。

「個人票」(個人ごとの結果)は、後日3年生に配付されます。これから頑張るポイントや復習すべき事項など、これからの学習に役立てるよう各クラスで指導しました。ぜひ、各家庭でもご覧いただき、励ましていただきますようお願いいたします。

【本校の結果】

国語、数学ともに、山形県及び全国の平均を上回りました。

問題と解答を分析してみると、よさと課題が明らかになってきました。

国語	よさ	<ul style="list-style-type: none">○書いた文章を読み直し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書くことができる。○書いた文章を読み文章の構成の工夫を考えることができる。○漢字を正しく読むことができる○相手や場に応じた敬語を適切に使うことができる。
	課題	<ul style="list-style-type: none">●話し合いでの司会者の役割を指摘すること。●参加者の誰がどのように発言するとよいか、内容を考えること。●場面展開や登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解すること。
数学	よさ	<ul style="list-style-type: none">○一元一次方程式をつくることができる。○与えられたデータから中央値を求めることができる。○具体的な4つの数の和が、4の倍数になるか確かめる式を書くことができる。○四角形が平行四辺形になる条件を説明できる。○錯角(さっかく)が等しくなるための2直線の関係を、記号を用いて表すことができる。
	課題	<ul style="list-style-type: none">●$(5X+6Y)-(3X-2Y)$の計算を正しくできること。●4つの数の和は、いつでも4の倍数になることを文字の式を使って説明すること。●2つの分布の傾向を比べるために、相対度数を用いる根拠となる考えを選ぶこと。
学習状況	よさ	<ul style="list-style-type: none">○自分で決めたことはやり遂げようとする。○地域行事に参加し、よりよくするため考えている。○学校生活をよくするため、話し合いをしている。
	課題	<ul style="list-style-type: none">●平日や休日、2時間以上の家庭学習を行うこと。●国語や数学で学んだことを、普段の生活の中で活用したり、将来の生活に生かそうとすること。

心のとびら

東京2020
パラリンピック
より・・・

学校教育目標「たくましいこころ」について考える



卓球男子シングルス、イブラヒム エルフセイニ・ハマドゥ選手(48歳)は口にラケットをくわえてプレーしました。(10歳の時に、列車の事故で両腕を失いました)

ハマドゥ選手は、サッカーに打ち込んでいました。13歳のとき、友人から「卓球はできない」と言われたことが、卓球を本格的に始めるきっかけとなったそうです。足の指でボールをはさんでトス、首を左右に振ってショットを打ち分けます。

「最初は10分間で歯の痛みには耐えられなくなった」

しばらくは歯の痛みとの戦いだったといいます。

ひたすら練習を重ね、歯の強化のため、カルシウムをとれるものは何



でも摂取したということです。

その結果、4時間から5時間は連続でラケットを口にくわえてプレーで



きるようになりました。そして2016年のリオデジャネイロ大会でパラリンピック初出場を果たしました。

このたび予選リーグ突破はなりませんでしたが、次のような言葉を残しています。

「不可能はないということを証明したい。できないことはない」と世界中の人に知ってほしい

※写真と文は、NHKホームページより引用させていただきました

**自分よりもすぐれた人を
賞賛できる心
それが人間が持ちうる
もっともすばらしい
心である**

イギリスの歴史家・評論家トーマス・カーライルの言葉です。(右)

「たくましいこころ」それは、
○折れない強さ ○他の人の良さを認める強さ

東京2020パラリンピックの多くのアスリートから教えていただきました。